



市では、地域の航空需要を市内外にアピールし、東京直行便の実現を図るため、但馬-大阪(伊丹)便の目標搭乗率を70%とする「ターゲット70」と題したコウノトリ但馬空港利用促進大作戦を展開しています。

開港以来の地域の悲願である東京直行便を実現するため、ぜひ、コウノトリ但馬空港を利用ください。

《問合せ》都市整備課交通政策係 ☎23-1712

■4月1日～6月30日の運行ダイヤ

コウノトリ但馬空港から大阪・東京へ

コウノトリ 但馬	発着時間・便名		大阪(伊丹)	発着時間・便名		東京(羽田)	所要時間 約2時間35分 (伊丹での乗継ぎ 時間約50分を含む)
	朝便	10:10⇒10:45 JAC2322便		朝便	11:30⇒12:40 JAL114便		
	夕便	18:00⇒18:35 JAC2324便		夕便	19:30⇒20:40 JAL134便		

東京・大阪からコウノトリ但馬空港へ

東京(羽田)	発着時間・便名		大阪(伊丹)	発着時間・便名		コウノトリ 但馬	所要時間 約2時間10分 (伊丹での乗継ぎ 時間約20分を含む)
	朝便	7:30⇒8:40 JAL103便		朝便	9:05⇒9:45 JAC2321便		
	夕便	15:30⇒16:35 JAL125便		夕便	16:55⇒17:35 JAC2323便		

※発着時間は、天候その他やむを得ない理由により変更される場合がありますので、搭乗前に確認ください。

■市民助成後運賃

【コウノトリ但馬⇄大阪(伊丹)】 〈片道〉

区分※1	運賃額	市民負担額
大人普通運賃	12,400円	5,400円
特便割引1	7,900円	4,000円
先得割引	6,900円	3,900円
身体障害者割引	7,950円	2,450円
小児普通運賃※2	6,200円	2,700円

※1…券により設定条件が異なりますので、必ず確認ください。

※2…小児普通運賃は、3歳以上12歳未満に適用されます。



■搭乗前の助成(市内取扱旅行代理店)

申請書を記入→助成後の金額で購入

助成取扱店	電話番号	助成取扱店	電話番号
(株)さとうトラベル サービス豊岡店	22-0007	(株)ツーリスト サンフラワー	22-4281
きほくツアーズ(株) JTB 旅サロン豊岡	23-0001	JA たじま 旅行センター	24-8200
(有)i.スマイル	26-6140	(株)スカイウェイ	29-0203
いずしトラベル サービス	52-4960	※但馬空港では、事前助成はできません。	

■搭乗後の助成(市役所)

搭乗後に搭乗券を提出→助成金を後日振込

申請場所		申請方法
本 庁	都市整備課	窓口に搭乗券を持参の上、申請書に必要事項(振込先)を記入ください。 ※搭乗後1カ月以内に申請ください。
総合支所	総 務 課	

今、豊岡の子どもたちは!?

～平成20年度「くらしのアンケート」調査結果から～

家庭での声かけ、話し合いが大切です!

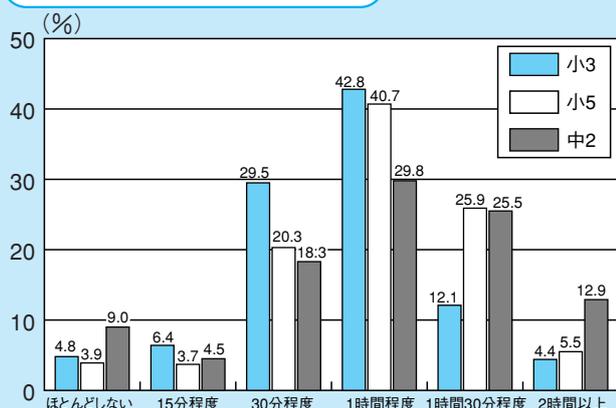
市教育委員会では、昨年11月に市内の全小中学校の小学3年生・5年生、中学2年生を対象に「くらしのアンケート」を実施しました。

今回は、調査結果の中からいくつかの項目を基に、豊岡の子どもたちの実態に迫ります(対象者 小学3年生552人・5年生611人、中学2年生462人)。

《問合せ》こども教育課指導係 ☎23-1452



「家庭での学習時間は?」



●家庭学習の習慣化を!

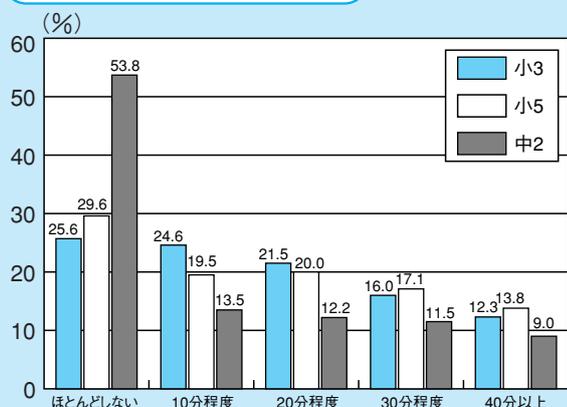
家庭学習は、学力の定着にとって欠かすことはできません。

中学2年生の3分の1は、家庭学習への十分な取組みが見られません。また、小学校高学年における学習習慣が、中学校に結びついていない実態も見受けられます。

今、豊岡市で取り組んでいる小・中連携教育においても大きな課題であり、より良い学習習慣の確立に向けた指導を、今後も推進していきます。



「家庭での読書時間は?」



●省テレビによる読書時間の確保を!

読書をする子どもほど確かな学力が定着しているとの報告があります。

各学校での学校図書ボランティアによる「読み聞かせ」やチャレンジフイフティ(注1)の取組みにより、読書に親しむ子どもが増えてきています。

しかし、学年が上がるにつれ、テレビ視聴やゲームなどに費やす時間との関係で、読書時間が少なくなっています。

※注1…毎月50冊読破した児童生徒に市教育委員会が認定証を交付しています。



「朝食は食べますか?」

●朝食は一日のエネルギー源!

毎日食べる	割合 (%)
小3	90.8%
小5	86.4%
中2	81.5%

学年が上がるにつれ、朝食を毎日食べる子どもの割合が減っています。

脳と体を動かすためには、エネルギーが必要です。

食生活の基本は家庭にあります。学校でも、食に関する指導に力を入れていますが、家庭でも話し合いの機会を持ちましょう。



「携帯電話を持っていますか?」

●携帯電話は必要ですか?

持っている	割合 (%)
小3	6.4%
小5	6.7%
中2	16.3%

小学生に比べて、中学生の所持率が高くなっています。

市内の小中学校では、原則学校への持ち込みを禁止しています。小中学生の携帯電話の利用には、いじめ、犯罪被害などの問題が潜んでいます。必要性について、家庭で十分に話し合ってください。



市教育委員会では、今後2年ごとにアンケートを実施し、豊岡市の子どもの実態を把握しながら、学校と家庭が連携して、基本的な学習・生活習慣の確立に向けた取組みを進めていきます。